

コロナに負けるな

長島町内での
コロナの影響と
あふれる支援



定額給付金を申請する住民(指江自治公民館)

特別定額給付金 給付率99%[※]超え

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次のイベントや施設が中止・閉鎖されることが決まりました。今後も状況によって、イベントの中止または内容変更などがあります。広報誌やホームページなどお知らせしますので、ご確認ください。

残念ながら イベントは中止 施設は閉鎖

イベント	当初開催日	中止／延期	問い合わせ先
子ども芸術劇場	7月6日(月)～8日(水)	延期または中止 日程未定	町教育委員会社会教育課 ☎(88)6500[直通]
三地区親善大会	7月19日(日)	中止	
小学校水泳記録会	7月22日(水)	中止	町教育委員会学校教育課 ☎(88)5681[直通]
サマーフェスティバル in ながしま	7月末	中止	役場水産商工課商工観光係 ☎(86)1137[直通]
ながしまサマースクール	8月8日(土)～11日(火)	中止	町教育委員会社会教育課 ☎(88)6500[直通]

閉鎖する施設	問い合わせ先
あづま海水浴場	役場水産商工課商工観光係 ☎(86)1137[直通]
松ヶ平キャンプ場	
長島青少年旅行村 (小浜海水浴場・キャンプ場)	

新型コロナウイルス感染症対策として、国民1人一律10万円を配る「特別定額給付金」の申請受付が5月7日から本町で始まり、給付率は99%を超えました。(6月5日現在)

町では、役場に出向くのが難しい高齢者などの負担を軽減するために、7日から8日にかけて職員が全55カ所の公民館を訪問し、申請窓口を開設。感染防止対策として、申請者との間は仕切りが設置され、手指消毒とマスク着用が徹底されました。このほか、密接を避けるため、順番待ちの人が座る椅子は間隔を空けて設置されました。

町では、役場に出向くのが難しい高齢者などの負担を軽減するために、7日から8日にかけて職員が全55カ所の公民館を訪問し、申請窓口を開設。感染防止対策として、申請者との間は仕切りが設置され、手指消毒とマスク着用が徹底されました。このほか、密接を避けるため、順番待ちの人が座る椅子は間隔を空けて設置されました。

申請期限は8月6日です。申請が済んでいないかたは早めの申請をお願いします。

問い合わせ先
役場町民保健課戸籍住民係
☎(86)1157[直通]

たくさんの方の マスク寄贈に 感謝します

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、町内外の医療・福祉施設や小中学校などから本町に配布されました。寄贈していただいた皆さんの心より感謝します。



寄贈を受けた特別養護老人ホーム
桃源郷の本田勝郎園長

学校給食センター 手作りマスクを寄贈

学校給食センターは5月11日、手作りマスク約200枚を町教育委員会に寄贈しました。

学校が休校中の4月下旬に、職員約10人が家庭にあった布生地などを持ち寄り、縫いやミシンなどで制作。幼稚園や小中学校に配布されました。

岩下儀一代表は子どもたちの感染防止につながればと願いを込めました。



ふるさと 長島のために

福岡市でインテリアの輸入販売の貿易業などを行なう池田哲彦さん(幣串出身)が4月27日、本町にマスク5千枚を寄贈しました。

池田さんは、町内の親戚らがマスク不足で困っていることを聞き「ふるさとの力になりたい」との思いで、町に寄贈を申し出ました。



モバイル修理.jp 出水店が1万枚寄贈

スマートフォン修理などを手掛けるモバイル修理.jp 出水店が5月12日、本町にマスク1万枚を寄贈しました。

同社は「地域でお世話になっているかたに協力できることはないか」と発案し、マスクを贈ることになりました。

代表社員は「町のために幅広く使ってほしい」と川添健町長に託しました。



阿久根青年会議所が寄贈

5月1日、阿久根青年会議所が新型コロナウイルス感染症防止に役立ててほしいと使い捨てマスク2千枚を本町に寄贈しました。

宮崎是彰理事長は「町のマスク不足の声を受け、配布を決めた。必要なくとも使ってほしい」と話しました。

